

## 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援について

### 【学生生活の支援および修学支援について】

#### 1. 学生生活を支援するための組織

学生部・学生支援課および学生委員会の教職員が、日常の生活および学生活動の支援をしています。また、クラス担任およびゼミ担当の教員が、学生の指導や相談を行っています。大学祭のような大きな行事については、全学の教職員が協力して支援しています。

#### 2. 学友会活動およびクラブ活動の支援

##### ①クラブ活動

クラブ・サークルは21団体あります。運動系では、ソフトテニス部、バスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、ダンス部などがあり、活動は運動場・テニスコート・体育館で行われています。これらの団体は、日本私立短期大学協会の体育大会などに参加して良い成績を収めています。文化系では、児童文化研究部、げんきクラブ（子育て支援ボランティア）、ミュージックバンド、ホビット（絵本の読み聞かせ）などがあり、その活動は小体育室（体育館）・SKホール（2号館2階多目的ホール）・合奏室（2号館4階）・子ども図書室（6号館1階）などで行われています。児童文化研究部は、伝統のあるクラブで、親子のための劇の定期公演や幼稚園・保育所・施設等での訪問などを行っています。各クラブの指導は、教員の顧問や特に依頼した外部の指導者が行っています。

##### ②学友会

学生生活を有意義に過ごすために、学生自身が主体となって運営していく組織として「学友会」があります。学友会には、授業時間帯や修業年限の違いから「第一部学友会」と「第三部学友会」の二つがあり、連携して活動しています。

学友会は、執行部・クラス委員会・クラブ連絡協議会・大学祭実行委員会・ボランティア委員会・卒業パーティー委員会・アルバム委員会・学生生活向上委員会によって構成されており、新入生歓迎会・球技大会・地元夏祭りへの参加・クリスマス会・地域でのボランティア活動・卒業パーティー・他大学との交流などの行事を実施すると共に、各クラブ間の連絡調整・卒業アルバム制作・学生生活についての意見集約などを行っています。執行部は、各委員会やクラブ・サークルの活動案・予算を審議し決定しています。学生委員会および学生支援課の教職員が、これらの自主的な活動を支援しています。

#### 3. 生活支援

アルバイトの情報や周辺のアパートの情報を、学生支援課窓口で提供しています。

#### 4. 奨学金制度

経済的に修学が困難な学生に学資を貸与する制度として、日本学生支援機構の奨学金制度、交通遺児・災害遺児育英会奨学金、愛知県介護福祉士等修学資金貸与制度などがあります。学生支援課がガイダンスや情報提供を行い、申請の支援を行っています。

#### 5. 学生の休息や自習のための施設、食堂、売店

学生の休息・自習のための施設として学生ホール（2号館1階）、学生談話室（7号館2階）があります。

学生食堂は6号館2階にあり、席数は約200席です。授業期間中の月曜日から金曜日まで営業しています。

購買は学生食堂内にあり、文具、軽食、名鉄バス回数券委託販売に加え、雑誌、書籍等も扱っています。また、教科書の予約や販売をしています。

また、クラブなどの合宿のための施設（4号館）があります。さらに、自転車で通学する学生のために駐輪場を2ヶ所（屋根付きで200台程度が収容可能）設置しています。

#### 【心身の健康についての支援について】

学生の健康管理、メンタルケアやカウンセリングの体制

保健室（2号館1階）には、看護師が常駐し、授業期間中の月曜日から土曜日まで利用できます。保健室は、休養室、学生相談室を併設しており、学生相談室では、臨床心理士によるカウンセリングを週1回実施しています。

学校保健法に基づいて、4月に全学年対象に健康診断を行う他、成人麻疹流行対策として、新入生を対象に麻疹、風疹、水痘、ムンプスの抗体検査を実施しています。また、学生の生活習慣や食生活に関する調査等も実施しています。

なお、救急対応として、AEDを学生ホール（2号館1階）と体育館玄関ホールの二カ所に設置しています。

#### 【多様な学生への支援について】

社会人学生が、学業と家庭とを両立できるよう、クラス指導主任や教科担当教員が学習面での支援を行うと共に、学生支援課が修学のための相談・支援を行っています。また、働きながら学ぶ第三部の学生が、学業と就業とを両立できるよう、学科のクラス指導主任が中心となり、学生支援課と連携しながら支援を行っています。さらに、第三部の学生のための行事を実施しています。

また、保健室が中心となり、各学科の教員と連携して、障害学生の支援を行っています。

## 【進路支援について】

### 1. 学生の就職を支援するための組織

進路支援課および進路支援委員会の教職員が学科との連携をはかりつつ、計画を立案し、年間を通して支援を行っています。また、各学科のクラス担任およびゼミ担当の教員も面談指導を行っています。また、進路支援課には就職カウンセラーを配置しています。

### 2. 進路支援の内容

本学では、以下のような進路支援を行っています。

#### ① 学生の希望進路の把握および求人情報の提供

求人情報を学生が自由に閲覧できるように整理すると共に、学生から「進路調査カード」の提出を受けて就職を希望する全ての学生を把握し、一人ひとりの希望に沿った情報提供を行います。また、進学についての情報提供や相談も行っています。

#### ② ガイダンスの実施

1年次前期に行う将来の進路についてのガイダンスをはじめとして、卒業までに何度もガイダンスを行います。また、学内企業説明会や先輩による就職活動体験報告会など各種の行事を開催します。

#### ③ 面談の実施および進路についてのカウンセリング

面談による相談・助言を常時進路支援課で行っています。また、就職カウンセラーによる相談も行っています。

#### ④ 各種講座の実施

S P I 対策講座、メイクアップ講座、マナー講座、女子力アップ講座など、各学科の進路に合わせた各種の講座を実施しています。また、幼児教育学科では、1年次から採用試験対策講座を行うと共に、2年次の7月には集中対策月間として、教養講座・ピアノ講座や、学科の全教員による面接指導・作文指導を実施し、採用試験に備えています。

#### ⑤ ホームページ、電子メールによる学生への情報提供

進路支援課では、学生が携帯電話でも活用できる「就職支援情報システム（OKATANお仕事ナビ）」を運用しています。学生は、同システムに希望進路を登録することにより、希望にマッチした求人情報を電子メールで受け取ることができます。また、同システムを活用することで、自宅でも本学独自の求人情報を検索することができます。

#### ⑥ 卒業後の就職支援

卒業生も就職支援情報システムに希望を登録することにより、求人情報を受け取ることができます。また、同窓会とも協力して、卒業後の就職支援を行っています。

### 3. 進路支援室、就職資料室

2号館1階に進路支援室および就職・進学インフォメーション室を設置しています。求人情報や進学のための情報は、過去の実績に関する情報を含め、就職・進学インフォメーション室に配架されており、自由に閲覧できます。また、パソコンとプリンタも設置されており、インターネットでの情報検索やエントリーができます。

### 4. 各学科の卒業生の主な就職先

主な就職先は以下の通りです。

幼児教育学科第一部・幼児教育学科第三部

幼稚園・保育所・福祉施設などの保育・教育職など

経営実務科

製造業、銀行、病院等の事務職など

人間福祉学科

老人福祉施設、老人保健施設、病院関連施設などの介護職など

## 【国際交流について】

国際交流委員会と学生支援課が中心となり、国際交流を推進しています。

### 1. 姉妹校との交流

アメリカ合衆国ワシントン州レイシー市にあるセントマーティンズ大学と長年にわたり交流を行っています。同大学とは姉妹校提携を結んでおり、教育文化交流協定によって同大学の教職員・学生が本学を訪問すると共に本学の学生も同大学を訪問し、毎年相互に研修プログラムを行っています。また本学学生のための留学プログラムも実施しています。平成23年度には、交流25周年を記念して式典が行われました。

### 2. その他の交流

韓国の安東市にあるカトリック上智大学と交流を行っています。同大学とも文化交流や研修を目的とする教職員・学生の訪問を相互に行っています。交流5年目を向かえる平成23年に、教育文化交流協定を結びました。